

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2023 年 12 月 8 日作成 第 1.0 版

研究課題名	当院 NICU における DPC II 期間内退院に影響を及ぼす入退院支援項目の要因
研究の対象	2021 年 10 月～2022 年 9 月の間に、附属病院 NICU に入院し退院された患者さんを対象とします。
研究の目的	NICU では、最適な入退院支援を行い、1 日でも早く自宅で過ごせるような支援を目指しています。しかし、入退院支援が入院期間にどのような影響を及ぼすか報告が少なく、明らかにしておく必要があります。入退院支援が円滑に行われ、今後の医療に役立てることを目的としています。
研究の方法	診療録から情報を収集して、退院支援について検討します。 いずれも通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2023 年 12 月 19 日 ～ 西暦 2025 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の項目	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 ・背景情報：年齢、性別、在胎週数、入院日、退院日、主傷病名、診療科名、在院日数 ・看護ケア項目 ・DPC II 期間 ・包括部分金額、出来高部分金額、DPC 金額合計、出来高換算金額、出来高包括差額
個人情報の管理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありませんので、当院外の機関が個人を特定することはできません。
試料・情報の管理について責任を有する者	当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属病院看護部 鈴木 友美
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。本研究の計画・実施・報告において、研究の結果及び結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益の衝突」は存在しません。また、研究の実施が研究対象者の権利・利益をそこねることはありません。

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

研究組織 （利用する者 の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属病院看護部 （研究責任者）鈴木 友美
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>また、情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。</p>	
<p>問合せ先： 〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 看護部 （研究責任者）鈴木 友美 （問い合わせ担当者）鈴木 友美 電話番号：045-787-2800（代表）</p>	